

# 株式会社電算

2018年3月期  
決算説明会



[www.ndensan.co.jp](http://www.ndensan.co.jp)

2018年6月12日

# I 2018年3月期決算

II 2019年3月期通期 業績予想

III 当社の目指す姿と今後の取り組み

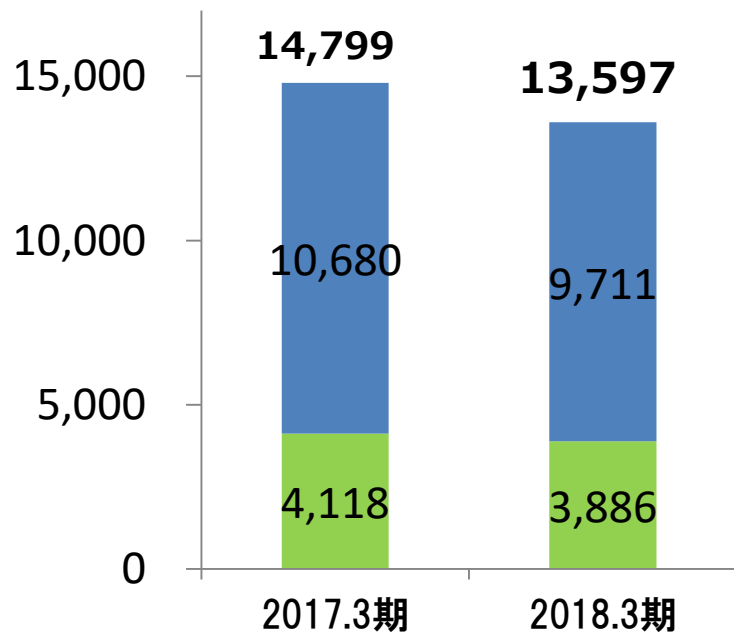
IV 株主還元

## 2018年3月期 決算の総括

(百万円)	2017年3月期		2018年3月期		増減	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	率
売上高	14,799	-	13,597	-	-1,202	-8.1%
営業利益	586	4.0%	1,048	7.7%	+462	+78.8%
経常利益	600	4.1%	1,044	7.7%	+444	+74.0%
当期純利益	419	2.8%	744	5.5%	+325	+77.4%

## 2018年3月期 決算の総括（セグメント別売上高）

(百万円)



売上高前期比 **8.1%減**

### ● 公共分野

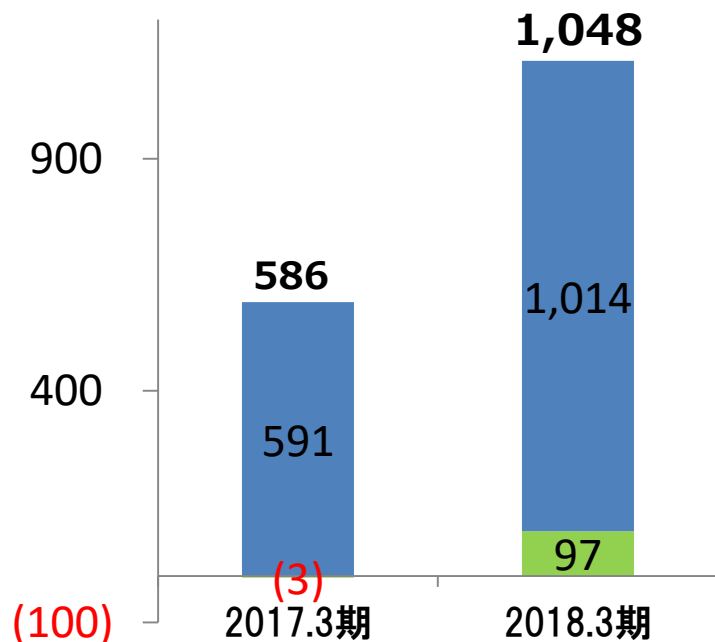
基幹系システムの更改、法制度改正対応（介護保険制度、旧氏併記対応、国民健康保険制度改正対応等）により売上を計上。前期は自治体情報システム強靱性向上事業等が売上に貢献し、前期比減収。

### ● 産業分野

病院総合情報システムの更改、各種パッケージシステム（リース業務パッケージ、販売管理システム）の提供で売上を計上。前期は医療機関向けの売上が貢献したこと、当期の受注不足から前期比減収。

## 2018年3月期 決算の総括（セグメント別営業利益）

(百万円)



営業利益前期比 **78.8%増**

### ● 公共分野

次期総合行政情報システムの研究開発費が減少し増益。

### ● 産業分野

売上は前期比減のもの、前期は利益率の低い医療関連の大型機器販売案件が多かったことから、収益率が改善し増益。

## 2018年3月期 決算の総括（業務の種類別）

(百万円)	2017年3月期		2018年3月期		増減	
	売上高 売上高総利益 売上総利益率		売上高 売上高総利益 売上総利益率		金額	率
情報処理・通信 サービス	2,883		2,810		-73	-2.5%
	851		835		-16	-1.8%
	29.5%		29.7%		-	+0.2pt
ソフトウェア開発・ システム提供 サービス	5,738		6,045		+307	+5.3%
	2,907		2,654		-253	-8.7%
	50.7%		43.9%		-	-6.8pt
システム機器販売等	3,884		2,510		-1,374	-35.3%
	725		514		-211	-29.1%
	18.7%		20.5%		-	+1.8pt
その他関連 サービス	2,293		2,230		-63	-2.7%
	694		615		-79	-11.3%
	30.3%		27.6%		-	-2.7pt

I 2018年3月期 決算

## II 2019年3月期通期 業績予想

III 当社の目指す姿と今後の取り組み

IV 株主還元

## 2019年3月期 業績予想

(百万円)	2018年3月期実績		2019年3月期予想		増減	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	率
売上高	13,597	-	14,300	-	+703	+5.2%
営業利益	1,048	7.7%	280	2.0%	-768	-73.3%
経常利益	1,044	7.7%	295	2.1%	-749	-71.7%
当期純利益	744	5.5%	193	1.4%	-551	-74.0%



## 2019年3月期 業績予想

### ● 公共分野

- 高品質な次期総合行政情報システムの開発完了と拡販
- 広域生活圏でのシステム共同利用の提案
- 重点エリアにおける新規ユーザ獲得
- 提携パートナーとの連携強化による全国シェア拡大

### ● 産業分野

- 主力パッケージシステムを中心に保有商談を確実に受注し、売上を伸長
- 医療機関向けサービスの営業活動強化による拡販
- ストックビジネスの強化（クラウドサービス拡販）

I 2018年3月期 決算

II 2019年3月期通期 業績予想

## III 当社の目指す姿と今後の取り組み

IV 株主還元

# 当社の目指す姿

## 現在

売上高：135.9億円  
営業利益：10.4億円



## 成長戦略の実行

- 新技術を利用した成長分野での新規事業の創生
- 成長領域での新規顧客確保による事業拡大



## 飛躍的成長 会社の存続

【守りから攻め】



新たな  
収益源を創出

## 今後の成長を見込んだ上で競争力のある「コア事業」を強化

### 既存・新規サービスの売上拡大

- 主力製品の全国シェアの拡大
- 産業分野の拡大と収益性の向上
- タイムリーに新製品・新サービスを提供し、計画的な販売により、安定した収益事業として定着させる
- 全社横断的に技術力・企画力・マーケティング力・営業力を集結し、商品力・販売力を強化する

### 社員同士がお互いを高め合う職場環境の醸成

## 今後の取り組み

### 今後の成長を見込んだ上で競争力のある「コア事業」を強化

- ▶ 次期総合行政情報システムを完成させ、安定稼働から新規ユーザの受注につなげる  
・ 2018年9月末の開発完了、10月の基幹系システムの安定稼働に注力
- ▶ 産業分野主力パッケージの全国シェア拡大
- ▶ 医療福祉関連のサービス、セキュリティサービスの拡大

### イノベーションによる新たなソリューションやビジネスモデルの創造

- ▶ 自社の強みを生かしつつ、最新技術を国内外からいち早く情報収集し取り入れる
- ▶ 環境変化に対応した、新しい成長領域を見極める

# 既存・新規サービスの売上拡大

## 産業分野の拡大と収益性の向上

- ▶ **主力パッケージシステムの拡販**
  - ・ **リース業務パッケージ、販売管理システム**  
：2018年3月期までに商品力強化の研究開発を実施
  - ・ **生産管理システム**：パートナーとの連携を強化し、開発請負案件を受注
- ▶ **医療関連システム事業の拡大**
  - ・ **大型案件である病院総合情報システムの獲得**
  - ・ **部門システムについて、計画的な営業プロセスを実施**
  - ・ **子会社である(株)ティー・エム・アール・システムズの商品群を加え販売機会を増やし、子会社とのさらなる連携強化で拡販する**

## 既存・新規サービスの売上拡大

タイムリーに新製品・新サービスを提供し、計画的な販売により、安定した収益事業として定着させる

- ▶ ドローンの活用分野、画像解析技術等の調査・研究を進め、早期事業化する
- ▶ 異業種・海外企業との協業で、新たなサービスの拡充を進める
  - ・国内外問わず、新たなアライアンスの可能性を模索し、革新的なビジネスモデルを創り出す
- ▶ RPAの自社導入を推進し、定型業務の省力化、高付加価値業務へのリソース調整を可能にする

## 新サービスの紹介

### セキュリティ・インシデント対応訓練研修サービスの提供開始



講義形式の知識学習とグループ演習を組み合わせ、サイバー攻撃への対処に関する知識を得るとともに、知識だけでは気づくことのできないインシデント対応の本質を理解するプログラム。

**セキュリティ知識に関する人材育成をととして専門知識を得たメンバーを中心にセキュリティ関連サービスの拡充を図っている。**

I 2018年3月期 決算

II 2019年3月期通期 業績予想

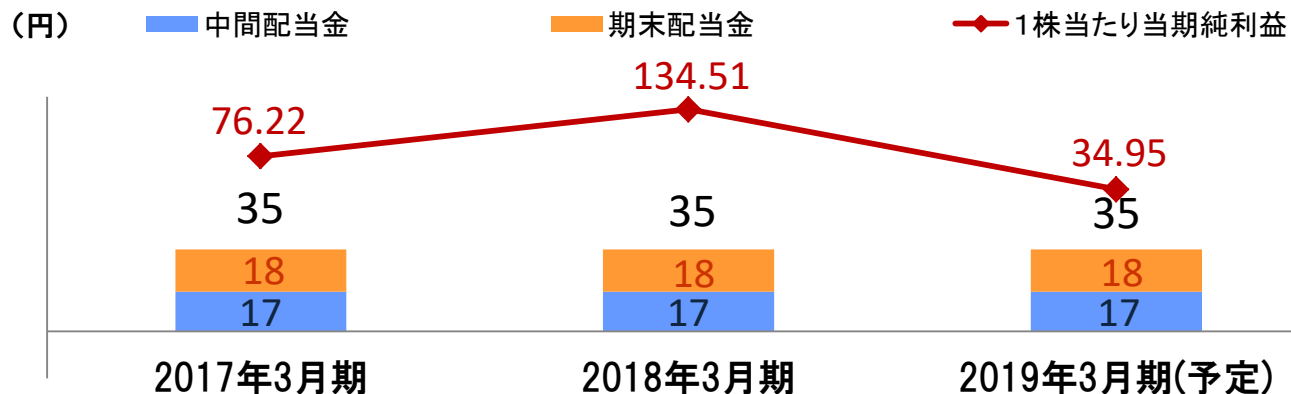
III 現在の取り組みと今後の状況

**IV 株主還元**



# 株主還元

1株当たり配当金	2018年3月期	2019年3月期
年間配当金	35円	35円 (予定)
9月中間	17円	17円 (予定)
3月期末	18円	18円 (予定)
(配当性向)	26.0%	100.1% (予想)



## 株主優待制度

### ● 4,000円分の三菱UFJニコスギフトカードを贈呈

#### ➤ 対象株主様

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記録された  
100株以上を保有されている株主様

#### ➤ 贈呈時期

毎年6月下旬

当社定時株主総会終了後、送付する決議ご通知に同封



**本日はご清聴いただき  
誠にありがとうございました。**

### IRに関するお問い合わせ

IRに関するお問い合わせ・ご質問は下記までお寄せ下さい。

株式会社 電算 経営企画部 IR担当 宛て

TEL : 026-224-6666 (土曜・日曜・祝日・年末年始を除く8:30~17:30の間)

[ir@ndensan.co.jp](mailto:ir@ndensan.co.jp)

本資料に掲載している情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、作成時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後経済情勢や市場動向の変化等、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

本資料は、当社に関する情報提供を目的としたもので、投資勧誘を目的にしたものではありません。

掲載されている情報を投資、その他の目的に利用することが適切か否かに関する決定は、利用者ご自身の判断で行うよう、お願いいたします。